

向陵だより

～「安全・安心で元気な学校」づくりのために～



今年度の重点教育目標

学校HP



相手意識をもち、自他を大切にする向陵っ子の育成
～ あなたも わたしも みんな たいせつ ～

令和8年 5月29日（金）

学校行事は心の栄養

校長 加藤 晴久

5月23日（土）に向陵小学校の運動会が行われました。気持ち良く広がった青空の下で、絶好の運動会日和となりました。

「向陵っ子 正々堂々 一致団結 思い出に残る運動会！」のテーマのもと、222名の向陵っ子が開会式、応援合戦、個人種目、団体種目に取り組みました。開会式で、私は子どもたちにスポーツマンシップ（「ルールを守って楽しむこと」、「相手を大事に思うこと」、「全力をだすこと」）を大切にして取り組むように話をしました。子どもたちは、どの競技でもスポーツマンシップを発揮して全力を尽くすことができ、その姿は大変素晴らしかったです。

向陵小に限った話ではありませんが、年々児童数が減少しています。そのような中でも高学年が中心となって係活動等でそれぞれが役割を果たし、運動会を成功させようと努力する姿が見られました。時にはプレッシャーに感じることもあると思います。ただ、そのプレッシャーをやる気に変えられるように支援し、達成感や充実感に繋げていくことが学校教育では大切なことです。

学校行事は子どもたちの「心の栄養」であると言われています。学校行事は単に体験的な活動ということではなく、集団的な活動や学校内外の様々な人と関わる機会を通して人間関係を築く力や社会性などを身に付け、自分もやればできるという自信を高めることができます。

運動会で子どもたちが力を発揮できたのは、ご家庭での子どもたちへの温かい励ましと、4月から子どもたち一人一人の力を伸ばすために、先生方が日々指導を重ねてきた成果だと言えます。

閉会式でもお話ししましたが、学校は子どもたちを中心に保護者、地域、教職員が一体となって子どもたちを支えていくことが必要です。子どもたちのために保護者、地域、教職員の役割がそれぞれにあります。その役割を果たしつつ、お互いの役割も理解し協力し合うことが大切だと考えます。

一つ大きな行事が終わりましたが、この後6年生は修学旅行が控えています。その後も様々な行事が年間を通して行われます。行事を通して子どもたちが「心の栄養」を蓄え大きく成長することを期待しています。



学年行事担当者会議が行われました

5月28日（木）、「学年行事担当者会議」が行われました。担当者をはじめ、本部役員や教職員、総勢40名以上が集まりました。会長からの全般に係わる説明の後、各学年に分かれて内容について熱心な話し合いが繰り広げられました。子どもたちのために知恵を絞り、前向きに御協力いただく皆様に、心より感謝申し上げます。

